

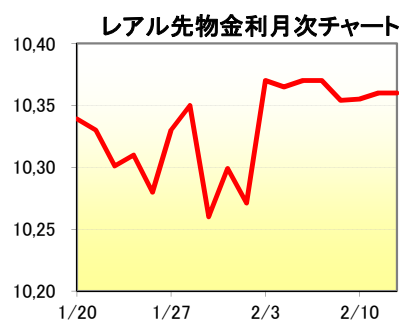
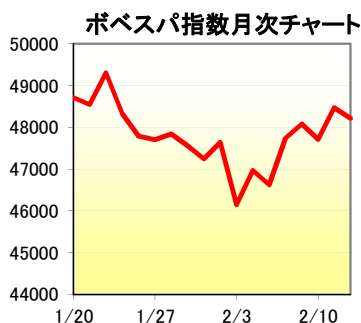
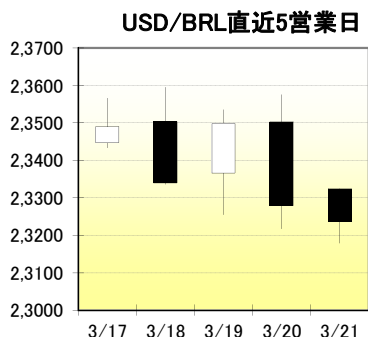
Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A



1. マーケット・レート

			3月17日	3月18日	3月19日	3月20日	3月21日	Net Chg
Forex	USD/BRL	Spot	2,3490	2,3410	2,3500	2,3280	2,3250	-0,0030
	USD/YEN	Spot	101,74	101,41	102,37	102,40	102,25	-0,1500
	EUR/USD	Spot	1,3923	1,3933	1,3823	1,3777	1,3799	+0,0022
	BRL/YEN	Spot	43,31	43,34	43,56	43,99	43,98	-0,0100
Swap	Dollar Clean	6MTH(p.a.)	1,16	1,16	1,18	1,19	1,14	-0,0490
		1Year(p.a.)	1,59	1,60	1,67	1,64	1,61	-0,0330
	Real Interest	6MTH(p.a.)	10,97	10,99	11,03	11,03	11,01	-0,0163
		1Year(p.a.)	11,33	11,37	11,43	11,44	11,40	-0,0433
Stock	Bovespa		45.118	46.151	46.567	47.278	47.381	+102,46
Bond	CDS Brazil 5y		182,00	176,00	176,00	175,00	182,00	+7,0000
	Global 40		113,625	113,875	113,725	113,425	113,425	u,c,

* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインディケーションです。実際のレート提示は弊社担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。



2. 主要経済指標

3. 要人コメント

イベント	予想	実績	前回	
IBGEインフレ率IPCA-15(前月比)	0.75%	0.73%	0.70%	なし
IBGEインフレ率IPCA-15(前年比)	5.91%	5.90%	5.65%	
CNI産業信頼感	--	52.5	52.4	

4. 週間市況、トピックス

- 今週の為替相場はUS\$1=R\$2.3410で寄り付いた。
- 週初は伯インフレ指数が予想比高い数字となった他、米製造業生産が予想を上回ったことからレアル売りが優勢となり、2.35台半ばまで下落した。
- 翌18日にはウクライナ問題を巡ってリスク資産の買い戻しが見られる中、レアルはその動きに反して売りが見られ、週間安値となるUS\$1=R\$2.3600を付けた。しかしロシアのプーチン大統領が隣国ウクライナのさらなる分割を目指してはいないと声明すると、リスク回避の動きが更に後退、レアルも正午を挟んでじりじりと反発した。
- 週央にかけては米FOMCを控えて様子見となる投資家が多く見られる中、大口の資金流入の噂が聞かれるとレアルは2.3250まで続伸した。しかし米連邦公開市場委員会(FOMC)が開催した定例会合後に声が発表され、イエレン議長は債券購入プログラムは今年にも終了する可能性があり、その6カ月後にも政策金利を引き上げる可能性があるとの認識を示したことから一気にドルが対主要通貨で上昇、レアルは2.35台半ばまで反落した。
- 翌20日には利上げ期待感や伯中銀によるドル売り介入を受けてレアルは他の主要通貨の動きに反して反発、2.32台前半まで上昇した。
- 週末にかけてレアルは週間高値となるUS\$1=R\$2.3180を付けた後、2.3200を2.3300の間で小幅に推移、結局US\$1=R\$2.3240で越過した。

当資料は相場情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的としたものではありません。投資の最終決定は投資家ご自身の判断でなさるようお願い致します。当資料は信頼できる情報源から得た情報に基づき作成したもので、その情報の正確性、安全性を保障するものではありません。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料は執筆者の見解に基づき作成されたものであり、弊社の統一された見解ではありません。当資料を使用することにより生ずるいかなる種類の損失についても弊社は責任を負いません。

Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A



5.来週発表される主要経済指標

日付	イベント	期間	予想	前回
3/24	Event	mar/23	0.85%	0.84%
3/24	FGV CPI IPC-S	Feb	-\$8000M	-\$11591M
3/24	経常収支	Feb	\$3445M	\$5098M
3/24	対内直接投資	mar/23	--	\$293M
3/25	貿易収支(週次)	Feb	--	2046B
3/26	Federal Debt Total	mar/23	0.28%	0.68%
3/26	FIPE CPI-週次	Mar	--	107.1
3/26	FGV消費者信頼感	Mar	0.45%	0.44%
3/26	FGV建設コスト(前月比)	Feb	--	0.1%
3/26	ローン残高(前月比)	Feb	--	2717B
3/26	融資残高	Feb	--	6.6%
3/26	個人ローン・デフォルト率	Feb	5.1%	4.8%
3/27	失業率	Feb	--	12.9B
3/27	中央政府財政収支	Apr 1	5.00%	5.00%
3/27	長期レート	Mar	1.53%	0.38%
3/28	FGVインフレIGPM(前月比)	Mar	7.22%	5.76%
3/28	FGVインフレIGPM(前年比)	Feb	--	33.3%
3/28	純債務対GDP比	Feb	--	19.9B
3/28	基礎的財政収支			

6.来週の為替市場注目点

予想相場レンジ : 2.30-2.36

今週は海外では米 FOMC が開催され、イエレン FRB 議長は初回利上げの時期を示唆し、市場での第一反応は驚きとなり、ドルは対主要通貨で上昇、レアルは 2.3600 まで下落する展開となった。しかし投資家は議長が述べた「利上げはインフレ次第」という重大な警告であるを見逃した可能性があり、それを受けてか、レアルは 2.32 台まで買い戻された。今後は米経済指標の結果に敏感に反応する可能性があり、予想比良好な結果となった場合にはレアル安に繋がるだろう。更に中国の経済状況が弱まっているとの懸念があるなか、来週は中国 PMI の結果もレアル相場に影響を与えるだろう。一方、今週は資金流入によってレアル相場はサポートされる場面が多く見られ、来週にかけてもこの動きが続くとの見方が強くレアルをサポートする可能性があり、足許のレアル相場は狭いレンジでの取引となろう。

当資料は相場情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的としたものではありません。投資の最終決定は投資家ご自身の判断でなさるようお願い致します。当資料は信頼できる情報源から得た情報に基づき作成したのですが、その情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料は執筆者の見解に基づき作成されたものであり、弊社の統一された見解ではありません。当資料を使用することにより生ずるいかなる種類の損失についても弊社は責任を負いません。

Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A Treasury Department